

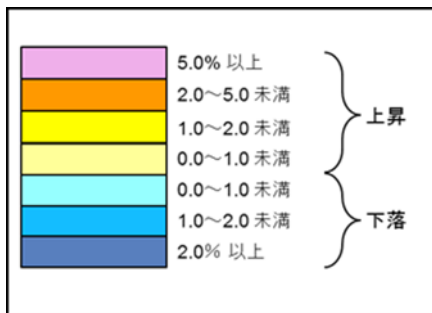
## 6. 名古屋圏の商業地

※（ ）は前年変動率

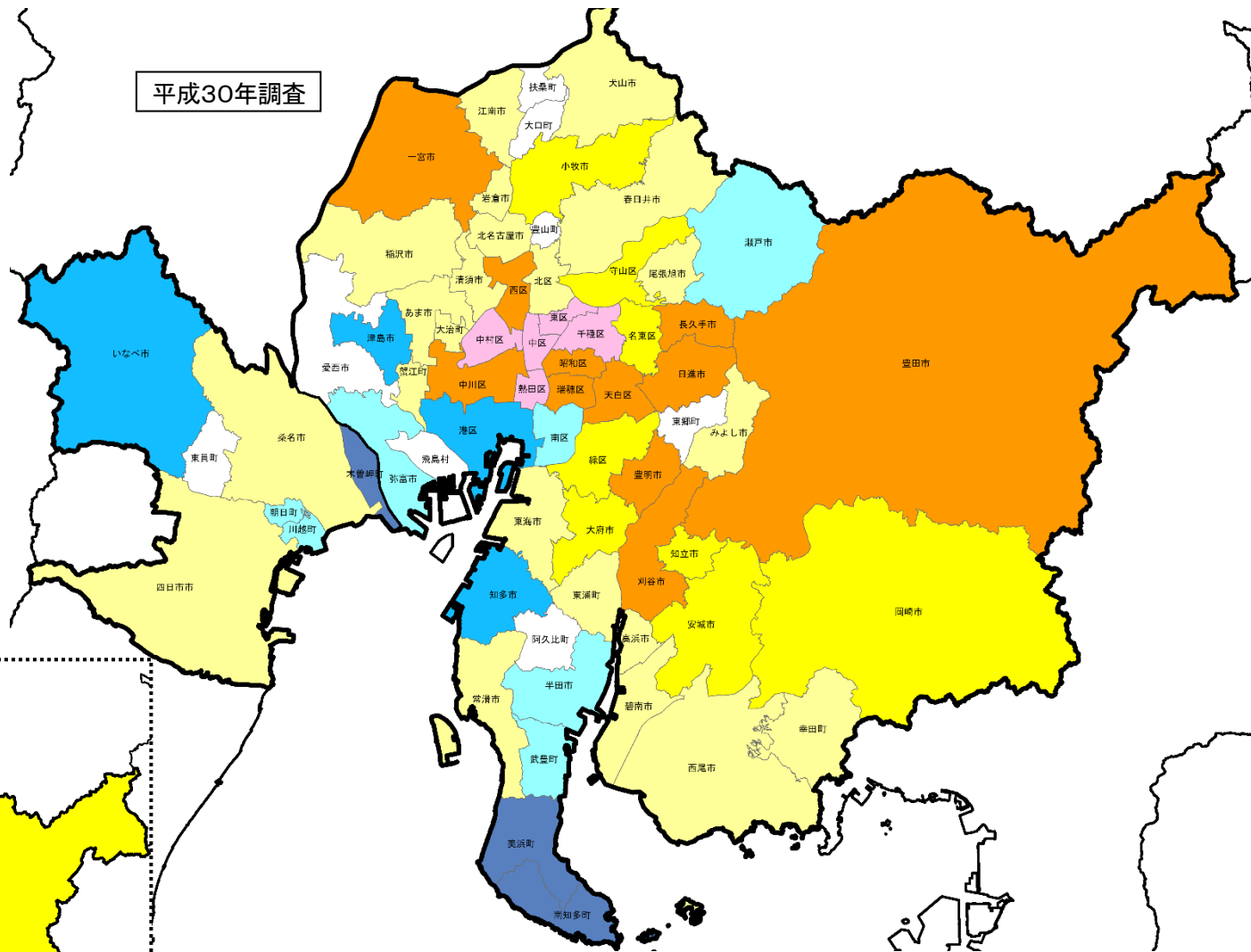
愛知県	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 名古屋市では、<b>6.5%上昇(5.3%上昇)</b>。港区及び南区を除く区で上昇が続いており、上昇幅が昨年より拡大した区も見られる。<ul style="list-style-type: none"><li>・ 中村区は、上昇幅は昨年より縮小したものの、名駅地区を中心に依然高い上昇率を示している。</li><li>・ 中区及び熱田区では、店舗需要及びオフィス需要が堅調で、上昇幅が昨年より拡大した。</li></ul></li><li>○ 尾張東部地域及び西三河地域では、上昇が続いている市が多く見られ、上昇幅が昨年より拡大した市も見られる。</li><li>○ 尾張西部地域及び知多地域では、下落が続いている市町が見られる。</li></ul>
三重県	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 四日市市では、<b>0.7%上昇(0.3%上昇)</b>。</li><li>○ 四日市市及び桑名市を除く圏域内の市町では、下落が続いている。</li></ul>

# 市区町村別の状況（名古屋圏・商業地）

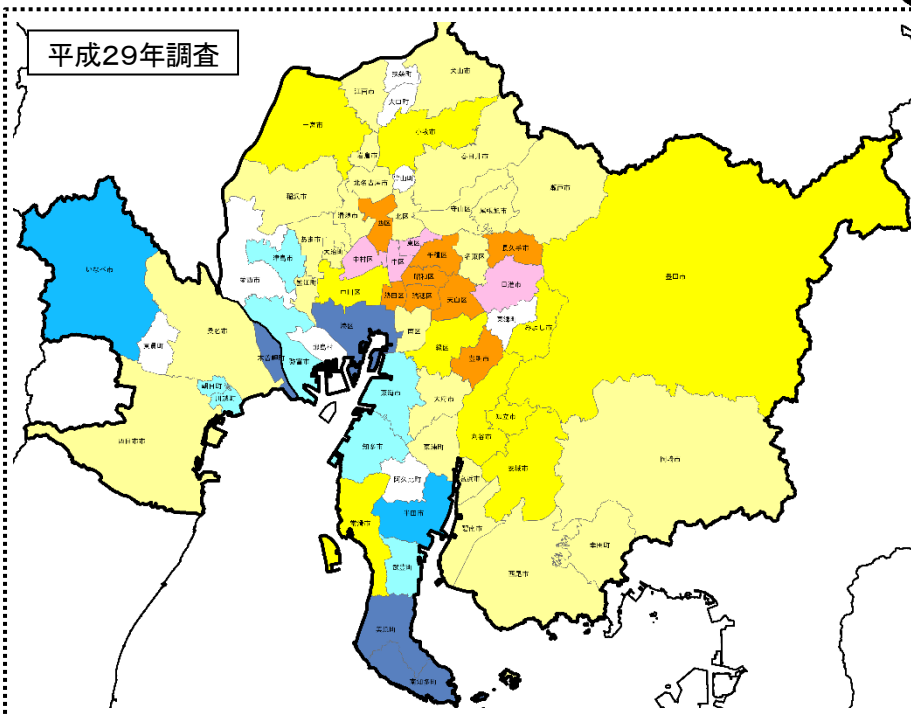
平成30年調査



※変動率0.0%の場合、小数点第2位以下の数値を考慮し、色分けをしている。



平成29年調査



※圏域内の白色部分は、継続地点が設置されていない市区町村である。